OpenRTM-aist (Java) - 機能 #2416

ECからRTCコールバック呼び出しを参照からサーバントにすることで効率化する

2012/05/07 08:56 - n-ando

ステータス:	終了	**開始日:**	2012/05/07
優先度:	通常	**期日:**	
担当者:	ga	**進捗率:**	100%
カテゴリ:		**予定工数:**	0.00時間
対象バージョン:			

説明

現在のECはRTCをCORBA Object referenceで保持しているが、これをサーバントに変換した上でコールバックを呼び出すように変更する。
こうすることで、onExecuteなど呼び出し時間が重要になるコールバック関数においてパフォーマンスを向上させる。

履歴

#1 - 2013/01/17 01:42 - ga

- ステータス を 新規 から 担当 に変更

- 担当者 を ga にセット

- 進捗率 を 0 から 60 に変更

#2 - 2013/01/31 23:05 - ga

- ステータス を 担当 から 解決 に変更

- 進捗率 を 60 から 100 に変更

r679でコミットした内容に今回の機能も盛り込まれています。（ r679 ）

以下の条件で実験を行った。

- ConfigSampleComp
  - EC: nowait
  - 表示なしに変更
  - log: NO, loglevel: NORMAL
  - 1000回ごとに統計

    [servant]
    max: 8.5E-5
    min: 8.5E-5
    mean: 8.5E-5
    stddev: 0.0

    [object]
    max: 1.84E-4
    min: 1.84E-4
    mean: 1.840000000000001E-4
    stddev: 1.0842021724855044E-19

#3 - 2013/06/12 00:36 - n-ando

- ステータス を 解決 から 終了 に変更

倍くらい高速になったようですね。ありがとうございました。